

# 「特別の教科 道徳」学習指導案

- 【主題名】 「国の代表」とは？  
 【内容項目】 C 国を愛する態度  
 【教材名】 「国歌を高らかに」

## 1 主題設定の理由

### (1) ねらいとする価値

「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」によると、「国際社会と向き合うことが求められている我が国の一員としての自覚をもって生きていくには、鋭い国際感覚をもち広い視野に立ちながらも、自己がよって立つ基盤にしっかりと根を下ろしていることが必要である。」とされている。

日本の優れた伝統や文化を理解し、我が国への親しみや愛着の情を深めることで、我が国の一員としての自覚を持ち、主体性のある日本人として、国としてのよりよい在り方について考え、行動できる能力や態度の育成につながるであろう。

### (2) 教材について

2015年ラグビーワールドカップにおける日本代表の「君が代」斉唱について取り上げている。様々な国籍、人種、民族の選手たちが、それぞれの思いを込めて「君が代」を歌っていることから、日本のよさや日本人としての誇りに目を向けさせたい。

## 2 本時の指導

### (1) ねらい

国歌を歌うことの意味について考え、日本人としての誇りを持って行動する態度を育てる。

### (2) 展開の概要

	学習活動	指導上の留意点
導入	1 国歌を歌うのはどのような場面か。  ・ラグビーワールドカップの国歌斉唱のシーンを見て気付いたことを自由に発表する。	・式典等自分が歌う場面と、スポーツの大会等で見る場面とを想起させる。  外国人選手も歌っていることに気付かせる。
展開	・教師の範読を聞く。  2 リーチ選手は大きな声で国歌を歌うとき、どんなことを思っているだろう。  3 ホラニ選手は君が代を歌ったとき、どうして泣きそうになったのだろう。  4 式やスポーツの大会で国歌を歌うことにはどのような意味があるのだろう。	・文章の読み取りにならないよう助言する。 ・リーチ選手が合宿で「君が代」を指導している様子を紹介する  ・グループで話し合わせ、多様な意見に触れながら考えさせるとよい。  ・国歌の歌詞を確認させるとよい。 ・式典等で自分自身が国歌を歌ったときのことを振り返らせる。
終末	5 本時の感想を書く。	数名の生徒の感想を聞く。 ・ニュース記事やTwitterでの反響を紹介し、余韻を持って終わる。

### (3) 評価の観点

- ① 国歌を歌うことの意味について考えることができたか。
- ② 日本人として誇りを持って行動しようという意欲を持つことができたか。

## 3 その他（画像・動画資料など）

- ・2015年ラグビーワールドカップ南アフリカ戦 国歌斉唱
- ・画像「リーチマイケル主将」「ホラニ選手」「リーチ選手の「君が代」指導」
- ・「ラグビー外国人選手の『君が代』熱唱は特訓の成果だった」J-CAST ニュース 2015.9.6

